

原 著

国内の養豚場における豚回虫，豚鞭虫および
腸結節虫の虫卵検出状況小林 憲一郎[†] 矢澤 慈人

全農家畜衛生研究所（〒285h0043 佐倉市大蛇町7）

（2008年8月27日受付・2009年4月23日受理）

要 約

豚回虫卵，豚鞭虫卵，腸結節虫卵の検出状況を全国の養豚場で調査した。材料には2005年9月～2007年3月に全国150カ所の養豚場で採取した豚の糞便4,221検体を持ちいた。虫卵検査はシヨ糖液浮遊法によって実施した。虫卵検出率は，豚回虫卵2.0%，豚鞭虫卵2.1%および腸結節虫卵2.5%であった。検出率を肥育豚，母豚，種雄豚と比較したところ，豚回虫卵は母豚と種雄豚が，豚鞭虫卵は肥育豚と種雄豚が，腸結節虫卵は母豚が有意に高かった（ $P < 0.05$ ）。39.3%の農場ではこれら3種の虫卵のうち1種以上の虫卵が検出された。また，15.3%の農場では2種以上の虫卵が検出された。今回の調査から，国内の養豚場ではこれら3種の寄生が依然としてみられ，各農場での寄生状況を把握して適切な対策を実施することが重要であると考えられた。——キーワード：豚回虫，疫学調査，腸結節虫，豚鞭虫。

----- 日獣会誌 62, 705～708 (2009)

[†] 連絡責任者（現所属）：小林憲一郎（協同乳業㈱飯田工場）

〒395-0808 飯田市鼎上茶屋3295

☎0265-22-3636 FAX 0265-22-7860

E-mail : kobayashi.kenichiro1812@gmail.com